

## 平成 26 年仕事始め式 学長挨拶

明けましておめでとうございます。

昨年は多くの目標を掲げて大学改革に取り組んで参りましたが、皆様の大変なご尽力により、少しずつではありますが形が見え始めたことに、まずもって感謝の意を表したいと思えます。

昨年の最も大きな改革として国立大学として初めての法科大学院の 2015 年度以降の募集停止があります。国の法曹教育政策の見通しの甘さが招いた結果とは云え、朝田法務研究科長を始めとする皆様には大変な決断に尽力頂きました。もちろんこのままなくすのではなく、社会的ニーズのある企業の海外進出に必要な法律に精通した法実務人材養成等に向けて私どもが提唱した法実務教育研究センター2014 年度設置、さらに文科省も本気で支援するようになった広域連合法科大学院実現に向けて努力をしていく所存です。

明るい話題としては Center of Community (COC：地(知)の拠点) 事業に採択されたことがあります。島根大学の最も重要な存在意義は地域活性化に資する人材養成のみならず産官学金民の連携による地域の活性化に貢献することにあります。まさに COC は島根大学の理念を実現するための事業と言っても過言ではありません。「理念なき行動は凶器であり、行動なき理念は無価値である」とホンダの創業者の本田宗一郎氏が言っておられます。

COC University は Research University に決して劣るものではありません。単に研究規模と実績の違いがあるだけです。本当に社会が必要とする教育・研究成果は身近な地域社会のニーズ、シーズを掘り起こし、学部の壁或いは国内外の壁を越えた連携から生まれます。イノベーションは狭い同業者の集まりからは生まれません。異業種交流から新しい発想が生まれるのです。このために島根大学では COC 実現を目指したいくつもの戦略的プロジェクト研究センターを立ち上げ学部の壁を越えた研究を開始しました。医理工農大学院コースだけでなく学部を越えた卒業研究も試験的に始めました。中四国地区をまとめる Social learning の拠点校として、開かれた大学を目指して待ちの姿勢ではなく自らが地域に出て行く活動が広がりつつあります。この春からは市民にもっと大学に来て学んで貰うと共に学生との交流を図って貰うため、島根大学市民パスポート会員を募集することにしました。法人化 10 周年記念事業の一環として正門近くに学生市民交流ハウスも建設予定です。

また、地域に根ざした教育・研究成果を世界に発信する、また世界から留学生を招いて本学の教育・研究の活性化を図るグローバル戦略も重要です。同時に留学生の県内中小企業への就職を支援し海外進出の幹部候補生として育てて行くための事業も立ち上げつつあります。この2年弱でインド科学大学をはじめ国際交流協定校もかなり増やしましたが、まだまだ本学の学生の留学が少ない状況にあります。グローバルな感性を持った人材を育てるために昨年春に開設した英語高度化副専攻コースの修了生を中心に長期留学を推進したいと思っています。

島根大学からの発信として、昨年春には東京で「古代出雲文化フォーラム」を本学ならびに関東同窓会の皆様の大変なご支援のおかげで成功裏に開催することが出来ました。島根大学が温故知新のテーマ研究を進めていることを知って頂けたと思います。今年の3月にも「古代出雲文化フォーラム II」を広島で企画しています。このフォーラムは情報発信だけでなく、島根大学同窓会の絆を強めるプロジェクトでもあります。島根大学の教職員が一つになって進めば必ずや道は開けると信じています。今年が島根大学にとってさらなる飛躍の年になることを祈念して新年の挨拶とさせていただきます。

今年もよろしく願いいたします。